

# 事務所通信 リソース

6月号 VOL. 48

## 税理士法人 中央総合会計

〒070-0037

旭川市7条通13丁目 59 番地 4

TEL : 0166-25-4131 0166-23-0010

FAX : 0166-25-4132 0166-23-7543

URL : <http://csk-i.com/>

E-mail : [cyuou@csk-i.com](mailto:cyuou@csk-i.com)



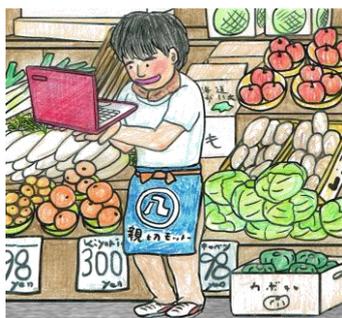
「3分間、待つのだぞ」のCMで一世を風靡したボンカレーの誕生は1968年。累計販売個数は 25 億食を超えたそうです。フタを開けて箱ごと電子レンジで2分間「チン」するだけの『ボンカレーネオ』の登場で、46年かけて 1 分間短縮されたわけです。時の流れは早いのでしょうか。遅いのでしょうか。

### 設備投資を応援する税制措置

特定中小企業者が経営改善設備を取得した場合、その取得価格の30%を特別償却することができる制度があります。これは、青色申告書を提出する中小企業者等が、**認定経営革新等支援機関**による経営改善に関する指導および助言を受けて、平成二十五年四月一日から平成二十七年三月三十一日までの間に設備を実際に取得し、自らの営む事業のために使用する場合に適用される制度です。自らの営む事業には、卸売業、小売業、情報通信業、損害保険代理業、不動産取引業、自動車整備業、農業など、多くの事業が該当します。また、中小企業者等とは、常時使用する従業員が1000人以下の個人事業者、資本金の額が1億円以下の法人、資本金1億円超の大規模法人の子会社を除く、中小企業等協同組合などになります。

なお、個人事業者または資本金3000万円以下の法人においては、取得価格の30%の特別償却が取得価格の7%の税額控除のいずれかを選択することができます。税額控除の場合は、事業所得に係る所得税額または法人税額の20%が限度となりますが、税額控除限度の超過額については一年間繰越すことができます。

※当事務所は「認定経営革新等支援機関」に認定されています。



## クールビズ実施のお知らせ

暑い暑い6月の旭川となりました。

今年も当事務所では環境問題に配慮し、クールビズ(具体的にはノーネクタイ等)を実施いたします。

期間は、**6月1日~9月末**までといたします。

なお、クールビズへの対応は職員個々の判断にまかせております。

各人毎又は、月日毎に異なる場合があります。

なにとぞ、趣旨をご理解の上、ご了承お願い申し上げます。

所長 井内 敏樹



## 【誰からも好かれる気配りメール対応】

用件のみのメールは、相手に冷淡な印象を与えることがあります。ほんの少し配慮するだけで気持ちよくやり取りができ好感度もアップします。具体的な2つのポイントをご紹介します。

＜相手に指示やお願いをする場合＞

「～してください」という表現は、メールにすると命令調の強い調子に感じられます。「～していただけますか？」と相手に問いかける形にすると表現が婉曲になり好印象を与えます。相手からの依頼を了承するときは、「分かりました」でも通じますが「承知しました」とすれば、より丁寧な印象を与えます。また、聞いていない場合の返答は、「聞いてない」ではなく「承っておりません」と返しましょう。

＜状況や状態を相手に尋ねる場合＞

相手に確認や質問をするときに「どうですか？」という表現は不躰な感じがし、尋ねられた方も何について、どこまで答えてよいか分からず困ります。知りたいポイントを、具体的に表現することを心掛けましょう。「それでいい」「〇〇さんでいいから」という表現は「とりあえず、何でも（誰でも）いい」というその場しのぎの印象を与えます。

「で」を「が」に変えてみましょう。

一文字の違いですが「～がいい」と表現すれば、「ほかのどれ（誰）よりもよい」と価値を認め尊重する表現になるので悪い気はしません。

### 依頼をするときの文例

- × 明日中に対応してください。
- 明日 17 時までに対応していただけますか？

### 了承する・しないときの文例

- × A 案に変更の件、分かりました。
- A 案に変更の件、承知しました。
- × 変更とは聞いてません。
- 変更については承っておりません。

## 【胸に秘める強い信念】

今では当たり前のように使われている「有言実行」という四字熟語。ご存知のように「言ったことは必ず実行する」という意味で、責任を問う場面などでよく耳にします。しかし、「有言実行」はもともとの言葉ではなく、「不言実行」から派生した造語のようなものだそうです。

不言実行とは、文句や理屈を言わずに黙って「なすべきことをする」こと。かつて、奥ゆかしさや慎ましさをよしとした時代には、不言実行が美德とされました。「古者の、言をこれ出ださざるは、躬（み）の速（およ）ばざるを恥づればなり」とは孔子の『論語』の一節で、昔の賢者が軽々しく言葉を口にしなかったのは、自分の言葉に実行が追いつかないのを恥としたためであるといった意味でしょうか。つまり、自分で言ったことを実行できないのは恥だと考えていた孔子は、言葉には慎重であるようにと説いたのです。

軽はずみな言動は恥どころか信用を失います。孔子の言うとおり言葉には慎重でありたいものです。

努力を人に言わず、その姿を見せもせず、人知れず淡々とひたむきに成果を出し、けれど自慢することもなく、それでもなお努力を続けることは、純粹に自分との勝負である分、口に出す以上に強い信念が問われるものです。気軽に言葉にしないで胸の内に秘めた思いが本物であれば、やがて成熟して実りの時を迎えるでしょう。そのときあなたの言葉にはさらに重みが増し、振り返ればそこには確かな足跡が刻まれていることだと思います。



## 先人の言葉

型としっかり  
覚えた後に、  
型破りになれる

歌舞伎役者である十八代目 中村勘三郎の言葉。何事も基本ができていなければ型なしとなる。基本を踏まえた上、さらに高みを目指すことを型破りとする。